

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2020No.179】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

曲名：オラトリオ《オリーブ山上のキリスト》

演奏：サイモン・ラトル指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/52533>

2020年3月7日のベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



オラトリオ《オリーブ山上のキリスト》出演者

フランツ・クサヴァー・フーバー, イヴォナ・ソボトカ (ソプラノ),
ベンヤミン・ブルンス (テノール), デイヴィッド・ソアー (バリトン),
ベルリン放送合唱団, サイモン・ハルシー (合唱指揮)

以上の他に下記の演奏がありました。

リヒャルト・シュトラウス

オーボエ協奏曲ニ長調

ジョナサン・ケリー (オーボエ)

ベンジャミン・ブリテン

《オヴィディウスによる6つの変容》より〈パン〉

ジョナサン・ケリー (オーボエ)

今回は、アナログアキュライザーの活用(7)で報告しましたようにアナログアキュライザーを DA-3000 の入力端子と Brooklyn DAC+ の出力端子に装着します。

DMR-UBZ1→DACU-500→Sonica DAC→AACU-1000→DA-3000→

Brooklyn DAC+→AACU-1000→P&G フェーダー→300B シングルアンプ

ベートーヴェンのオラトリオ《オリーブ山上のキリスト》は初めて聴くものです。オラトリオとは言え、オーケストラは交響曲のようであり、これにオペラのようなダイナミックな歌唱が加わります。アナログアキュライザーをダブルで使用した効果は、ソロ歌手の声がホール全体に響き渡る様がリアルになったこと、合唱の濁りがとれ、ダイナミックに響くようになったことに現れています。

リヒャルト・シュトラウスのオーボエ協奏曲は、オーボエ協奏曲自体あまり聴く機会がないので興味深く聴きました。ジョナサン・ケリーのオーボエは、アンコール曲も含めて、表現力が豊かで、オーボエの魅力を伝えてくれました。

こういったコンサートで聴く機会の少ない演奏にふれられることは、BPODCH のメリットです。

以上